

3月6日(木曜日) 枯れマツ除伐とモリメイト花壇の草引き

【参加者】池本、浦野、梶川、木谷、杉、鈴木哲、鈴木明、中、森浜牧

計9名】



先週に引き続き、今週も公園職員さんの手伝いをして枯れマツを除伐した。

散策路沿いの伐倒は、とても気を使う作業であるため、「モリメイトさんが手伝ってくれるととても助かる」と職員の坂田さんと竹村さんに喜んでもらった。

気持ちよく安全に散策できる公園にするため

にも、モリメイトにできることは協力していきたい。

昨日は啓蟄。ヘビやカエルなどが穴の中から這い出してくるころである。土の中に届いた暖かい気配を感じてモリメイト花壇のスイセンも芽を出し始めたので、草引きをすることにした。花壇には、スイセン、タイム、セージなどを植えている。色とりどりの花壇を作りたいのはやまやまではあるが、シカが食べない植物となると限られてしまうのが残念。しかし、白い

レースのような花を咲かせるオルレヤのひとり生えがたくさん出ているのを見つけ嬉しくなった。シカに食べられないことを願いながらモリメイト花壇の草引きを終えた。



3月13日(木曜日) 梅が満開！ 枯れマツを除伐

【参加者】池本、越智宏、梶川、木谷、杉、鈴木哲、鈴木明

計7名】

ぽかぽかと春らしい陽気の朝、花のテラスでは梅が見ごろを迎えていた。

今回も公園職員の坂田さん、竹村さんの枯れマツ除伐の手伝いをした。

ビジターコテージから「風のとりで」へ向かう散策路沿いの枯れマツ 10 本を除伐。その後、観察広場の散策路を隔てた向かい側の低くなったところにあった樹齢 50 年は超えるであろう枯れマツの大木を伐倒。すさまじい音を立てて倒れていくマツの最後に「ご苦労様」の気持ちを込め、幹を切り、枝の処理を行った。



3月 20 日(木曜日) **枯れマツ除伐** 

職員の竹村さんに剪定の仕方を教えてもらう

【参加者;越智宏、梶川、木谷、芝田、鈴木哲、鈴木明、中

計7名】



ビジターコテージ横にカミザクラ(シナミザクラ)が咲き始めた。公園では一番早く咲くサクラで、名前の通り、中国原産で、実は食用になる。おしべが長く、花びらが小さいため地味ではあるが、趣のある桜である。

枯れマツの除伐は、ブロアーで散策路を綺麗にし、今日で一応終えることとなった。



午後からは、モリメイト花壇に植えられているカリンの木の剪定を職員の竹村さんに教わった。

切るべき枝がよくわかる休眠期の冬に行うのがよい、徒長枝・ひこばえなど樹形を乱し成長の妨げになるものを切る、花芽を残す、強剪定に不向きなため毎年こまめに選定するのがいいなどの話を聞いた後、実際に竹村さんに「この枝は切りましょう」と言ってもらいながらモリメイトが剪定していた。スッキリ整った形になり、日が入り風が通る剪定をすることができた。



カリンの花



モリメイト会議

- ・モリメイトフィールドと花のテラスにフジバカマを植えてアサギマダラを呼ぼう
- ・枯れマツを除伐するときの 安全の再確認伐採時のチャップス着用
- ・モリメイト設置要項とモリメイト活動規約の確認



3月 27 日(木曜日)

フジバカマを植える準備と「五七五の森」の整備

【参加;池本、越智宏、梶川、木谷、芝田、杉、鈴木哲、中、濱田、森浜学、森浜牧

計 11 名】

モリメイト掲示板の道を隔てた向かい側の空き地とモリメイトテラスの横の2か所にフジバカマを植えることにした。土が固く笹や草の根が張っていたので耕すのにかなり苦労したが土を柔らかくすることができた。来週、腐葉土を入れ、フジバカマを植えることにする。

モリメイトのメンバーから「五七五の森」と名付けられた池の周辺はとてもきれいに整備されていてベンチに座って俳句を詠む人がいたということを聞かされた。そこで「整備しよう」ということになり、笹を刈っていくと池を囲む道が現れ、池側に向いたベンチにも座れるようになった。少しずつ整備していき、以前のような風情ある場所にしていけたらと思う。

